

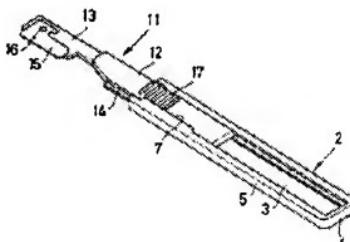
**SIMPLE RAZOR**

**Numéro du publication:** JP2000279658  
**Date de publication:** 2000-10-10  
**Inventeur:** GOTO TAKAYUKI  
**Demandeur:** YOSHINO KOGYOSHO CO LTD  
**Classification:**  
 - internationale B26B1/08; B26B21/40; B26B21/52; B26B1/00;  
 B26B21/00; (IPC1-7): B26B21/40, B26B1/08;  
 B26B21/52  
 - européenne  
**Numéro de demande:** JP19990092497 19990331  
**Numéro(s) de priorité:** JP19990092497 19990331

**Signaler une erreur concernant les données**

Abrégé pour JP2000279658

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To improve safety for a blade edge in a simple razor for removing useless hair by freely taking in and out a slide member with an edge to a grip member. **SOLUTION:** A simple razor comprises an elongated grip member 2 having a rear plate 4 which rises from the rear edge of a bottom plate 3, right and left side plates 5 which rise from right and left side edges thereof and flange shaped plates protruding inward from the upper ends of the right and left side plates to form a space of substantially doubled rectangular shape in cross-section by the inner surface thereof and the upper surface of a clearance between the flange shaped plates and a slide member 11 with an edge which can be freely taken in and out of the front end open surface of the grip member. The slide member with the edge is provided with a flat plate part 13 with an edge protruding from the front surface of a slide plate part 12 having substantially the same size and the same cross sectional shape as those of the space. Stoppers 7 protrude in the inner surface of the front parts of the flange shaped plates and a cut-out part 14 is provided as a stopper passage on the side surface of the upper part of the slide plate part 12, so that the engagement of the stoppers with the rear end of the cut-out part is regarded as the front limit of the forward movement of the slide member.



Les données sont fournies par la banque de données esp@cenet - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願番号

特開2000-279658

(P2000-279658A)

(43)公開日 平成12年10月10日(2000.10.10)

(51)Int.Cl.<sup>1</sup>B 26 B 21/40  
1/08  
21/52

類別記号

F I

B 26 B 21/40  
1/08  
21/52

デ-コード(参考)

A 3 C 0 6 1  
Z  
A

(21)出願番号

特願平11-92497

(22)出願日

平成11年3月31日(1999.3.31)

(71)出願人

000006909

株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6号

(72)発明者

後藤 孝之

東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉

野工業所内

(74)代理人

100068157

弁理士 今岡 良夫 (外1名)

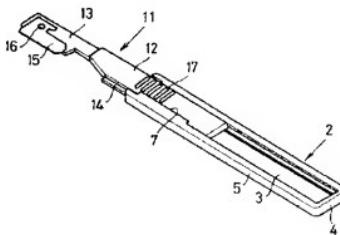
Fターム(参考) 3C061 AA16 BB06 BB12 CC20 EE40

(54)【発明の名称】簡易剃刀

(57)【要約】

【課題】無駄毛除去用の簡易剃刀として、柄部材内へ刃付き摺動部材が出入自在として刃に対する安全性を高めた。

【解決手段】底板3後縁から後板4を、左右側縁から左右側板5、6を、それぞれ起立し、左右側板上端からフランジ状板6、6を内方突出して、それ等内面と両フランジ状板間の間隙上面とて横断面ほぼ凸字形状空間を形成する粗長の柄部材2と、該柄部材の前端開口面から出入自在とした刃付き摺動部材11とからなり、該刃付き摺動部材は上記空間とほぼ同一大きさ、同一横断面形状とした摺動板部12前面から平板状の刃付設板部13を突出して、上記フランジ状板前部内面にストップア7を突設し、かつ摺動板部12の上部側面上にストップア通過としての切欠き14を設けて、ストップアおよび切欠き後端の係合を摺動部材前進の前限とした。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 前後方向へ長く設けた底板3の後縁から後板4を、かつ左右両側縁から左右側板5、を、それぞれ起立すると共に、それ等両側板の上端内面からフランジ状板6、6を突出して、上記底板と左右側板と両フランジ状板と両フランジ状板間の間隙上面とで、横断面ほぼ凸字形状の空間を形成する柄部材2と。

上記柄部材内へ嵌合されて、柄部材前端面から出入自在に設けた刃付き振動部材11とからなり、

上記柄部材2が有するフランジ状板の前部内面にストップアを付設し、刃付き振動部材11は、柄部材前端面から出入自在に設けた刃付き振動部材11とからなり、

刃付き振動部材11は、振動部材12前面から平板状の刃付設板部13を突設して形成すると共に、その振動部材12は、上記凸字形状空間とはほぼ同一大きさかつ同一横断面形状とし、かつ後部を除く上部側面に上記ストップア通路としての切欠き14を設け、ストップア後端面に対する切欠き14後端部の係合を、柄部材2に対する切欠き14後端部の係合を、柄部材2に対する刃付き振動部材11前進の前後にしたことを特徴とする簡易刺刀。

【請求項2】 振動部材12の上面に、滑り止め突条17を構設したこととを特徴とする請求項1記載の簡易刺刀。

【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば眉毛等を揃えるために使用する、無駄毛除去用の簡易刺刀に関する。

## 【0002】

【従来の技術】男性が髭剃り用に使用する、金属製柄部の先端部に刃を挿入させた簡易刺刀が周知となっている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の髭剃り用簡易刺刀は一回だけ使用の使い捨て刺刀として考えられているから、その刃の保護も充分ではなく、その刃の部分に紙筒状のサクを留める等している。

【0004】従って上記のような簡易刺刀を眉毛等を揃えるために使用する簡易刺刀として使用すると、このような場合は剃り落とす毛の数が極めて少なく、よって相当期間保存してその間に何回も使用するから、その保存期間における刃の保護、又は刃により手を傷つける等を防止するための安全確保が必要となる。

【0005】本発明は、このような刃の安全性を確保できるようにしたものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】第1の手段として前後方向へ長く設けた底板3の後縁から後板4を、かつ左右両側縁から左右側板5、を、それぞれ起立すると共に、それ等両側板の上端内面からフランジ状板6、6を突出して、上記底板と左右側板と両フランジ状板と両フランジ状板間の間隙上面とで、横断面ほぼ凸字形状の空間を形成する柄部材2と、上記柄部材内へ嵌合されて、柄部材前端面から出入自在に設けた刃付き振動部材11とからなり、上記柄部材2が有するフランジ状板の前部内面にストップアを付設し、刃付き振動部材11は、振動部材12前面から平板状の刃付設板部13を突設して形成すると共に、その振動部材12は、上記凸字形状空間とはほぼ同一大きさかつ同一横断面形状とし、かつ後部を除く上部側面に上記ストップア通路としての切欠き14を設け、ストップア後端面に対する切欠き14後端部の係合を、柄部材2に対する切欠き14後端部の係合を、柄部材2に対する刃付き振動部材11前進の前限とした。

【0007】第2の手段として、上記第1の手段を有すると共に、振動部材12の上面に、滑り止め突条17を構設した。

## 【0008】

【発明の実施の形態】以下図面について説明すると、本発明の簡易刺刀1は、柄部材と該柄部材内へ挿入自在に嵌合された刃付き振動部材とからなる。

【0009】柄部材2は、前後方向へ長く設けた底板3の後縁から後板4を、かつ左右両側縁から、上記後板と同一高さの左右側板5、をそれぞれ起立すると共に、それ等両側縁の上端内面からフランジ状板6、6を突出している。従って柄部材は、上記底板と左右側板と両フランジ板とこれ等両フランジ状板間の間隙上面とで、横断面ほぼ凸字形状の空間を形成するものである。上記両フランジ状板6、6の少なくとも一方の前部内面には、そのフランジ状板を内方へ延長した形状のストップアを付設する。図示例では図左方のフランジ状板にだけ付設したが、図右方のフランジ状板前部から突設してもよく、又両フランジ状板前部からそれぞれ突設してもよい。既述底板3は図2が示すようにその左右両側に抜孔8を穿設してよい。

【0010】刃付き振動部材11は、振動部材12前面から平板状の刃付設板部13を突出して形成する。その振動部材12は、既述柄部材の凸字形状空間とはほぼ同一大きさかつ同一横断面形状とする。但しその凸字形状は、図2が示すようにその下端左右両側を面取りした形状として柄部材に対する摩擦抵抗を軽減するといい。又振動部材12の後部を除く上部側面には、切欠き14を設ける。該切欠きは、柄部材2に対する刃付き振動部材11の際際のストップアを通すための通路となるもので、図5が示すように、前限まで刃付き振動部材11を前進させたとき、ストップアの後端面と切欠き14の後端面とが係合してその前限を定める。

【0011】平板状の刃付設板部13は、刃15をビン16で板部に固定させたものであり、板部は振動部材12の前端下面から振動部材よりも薄くして前方へ突出させ、その振動部材12と板部とは合成樹脂材で一体成形している。尚柄部材2は合成樹脂材で一体成形している。

【0012】刃付き振動部材11の上面には左右方向へ複数の滑り止め突条17を構設するといい。

【0013】上記構成において、図1および図4が示す

刃付き振動部材11収納状態から、滑り止め突条17に指を当て、前方へ押出することで図3が示すように柄部材2に対する刃付き振動部材11が押出され、ストッパー7の後端面へ切欠き14の後端面が接することで前限に達し、刃付き振動部材11は停止する。該状態で剃刀を使用した後、上記滑り止め突条17を後方へ、刃15が柄部材前部内へ収納されるまで押し戻せばよい。

## 【001-1】

【発明の効果】本発明は既述構成とするものであり、柄部材2と刃付き振動部材11とで形成して、柄部材横断面形状が有する凸字状空間内へ、ほぼ同一大きさかつ同一横断面形状の振動部材12を嵌合させるから、該振動部材の上面は柄部材上面へ露出することとなり、よって該上面を介して、柄部材に対して刃付き振動部材を振動させて柄部材前面から出入させることが容易であり、柄部材のフランジ状板6の前部にストッパー7を付設し、該ストッパー通路としての切欠き14を振動部材12の後部を除く

上部側面に設けたから、柄部材に対する刃付き振動部材11の前限が定められて抜け落ちすることがない。

【001-2】諸求項2のように振動部材12の上面に滑り止め突条17を構設したから、柄付き部材に対する刃付き振動部材の出入を容易とすることが出来る。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明剃刀の平面図である。

【図2】 要部の拡大横断面図である。

【図3】 剃刀の分解斜視図である。

【図4】 剃刀の斜視図である。

【図5】 刃を露出させた状態で示す剃刀の斜視図である。

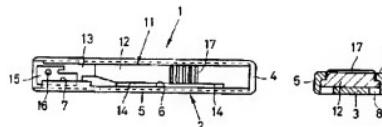
## 【符号の説明】

2…柄部材	6…フランジ状板
7…ストッパー	11…刃付き振動部材
12…振動部材	14…切欠き

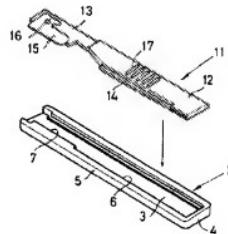
【図1】

【図2】

【図3】



【図4】



【図5】

